



# Nutrition Support Times

## ビーフリード開始にあたって—NCM講演会より—

みなさん、もうお忘れになったと思いますが、ビーフリードの使用を 500mL を 3 時間以内に落とすことという決まりを外し、現実的に使用できるようになりました。ただ、当然注意点があります。閉鎖式回路を使用すること、ビーフリード、イントラリピッドにはには何も混ぜないというこの 2 点は必ず守ってください。

背景:ビーフリード、イントラリピッドは感染に非常に弱い。そしてビーフリードはよく薬剤を混注して投与されていた、しかも時に 500mL バッグが 24 時間かかって投与されていた。

その結果、本来弱毒菌で免疫能が正常な人には症状がないと思われていたバシルスによる敗血症が発生した。

今回の変更点:末梢静脈路にも閉鎖式回路の使用の許可を得、その上で条件を守った上でのビーフリード使用再開の許可を得た。(於: 管理部長会議)ただし、ビーフリードもしくはイントラリピッドを使用するときのみ。

注意:ビーフリードは図に示しますように非常に菌の繁殖に好適です。それを安全に投与するために、以下の注意を守ってください

- 1 何も混ぜない
- 2 同一の袋を 12 時間以上かけて投与することは避ける
- 3 静脈路確保時、輸液回路調整時、接続時は常にエタプラス、マスク、手袋、サニコットでのごし拭き
- 4 閉鎖式回路を使用すること。

### 閉鎖式回路について

現在、末梢静脈栄養で閉鎖式回路を使用したところで敗血症の数が減ったというデータはありません。中心静脈栄養においてなら有りますが。しかし、近隣の病院(西市民病院なども)ではほとんど三方活栓を廃止し、閉鎖式回路を採用するところが増えています。なぜでしょうか？

まず、三方活栓の蓋の 50%は細菌に汚

染されており、また三方活栓自体消毒が困難です。そして、本来三方活栓の蓋は使い捨て無ければ行けません。そのためはコストが結局かかります。そして、三方活栓をつけるために回路を分解しますが、そのたびに感染のリスクがあがります。

これに対し、閉鎖式回路は蓋のコストがかからず、消毒が容易で、最初から回路がくまれています。そのため感染のリスクは下がり、かつコスト面でも改善すると考えています。

### 感染管理について

今回問題となったバシルス、また偽膜性腸炎の原因菌であるクロストリディウムディフィシルはエタプラス、サニコットでは消毒できませんので、物理的に除去するしか有りませんので、刺入する場所、接続する場所をごし拭き強く拭いてください。マスク、手袋、エタプラスに関してはいうまでもありません。

### 栄養投与について

カロリーが足りなければ、アミノ酸を入れても単なるエネルギー源になりますので、合計カロリーも気にしてください。25kcal/kg/day が最低基準です。その投与も難しい場合では、骨格筋の消耗を減らすために、2g/kg/day の糖分投与は本当に最低限必要とされています。また、急性腎不全の場合、アミノ酸の制限を行う必要はありませんので、侵襲度において 1.2-1.5g/kg/day のアミノ酸を投与してください。

### 少量のバシルスを接種後

- ビーフリード
- ソルデム3A
- フィジオ35



3 6 9 12 24時間後

セレウス菌を 10<sup>2</sup>CFU/ml濃度に接種後の各種輸液製剤の経時変化 (培養温度25℃)

## NCM 講演会予定

月日	内容	担当
10/22	下痢対策	東別府先生
11/26	呼吸器と栄養	呼吸器内科

NSTカンファレンス・回診

毎週水曜日 pm1:00~8 北(861)NSTカンファレンスルーム



## NSTの活動状況

当院は1年半後の移転準備のためこの部署も業務以外の仕事が急速に増えだしてきている。その中でもチーム医療としてのNST活動は、前向きに続けられている。特にこの10月以降はイベントが立ち並び、どうなることかと心配している。10月にはNSTサポート療法士教育認定施設として実習生の受け入れをし、11月は兵庫NST研究会の幹事として会を運営し、12月は地域の連携を目指した第2回神戸スワローズ開催予定である。年が明けても学会発表など目白押しである。しかし、くじけずチームワークでなんとか乗り越えようとスタッフ全員がんばっている。あとは病院全体の栄養状態がよくなっているのが心配だ。栄養管理の重要性が広まっている実感をつかめたら、みんなの苦労も報われると思うのだが・・・

## サプリメントと健康食品

最近ではサプリメントや健康食品を多用している人が多い。忙しい中での健康管理の一環と、偏食傾向のある人の補食だそう。本来サプリメントは不足しているものを補うために使用するもので、食品に含まれる天然のものと合成品のものでは化学構造が違い、作用も全然違うものもあります。サプリメントに頼ってばかりいると、栄養のバランスその他で問題が起こってしまうことも考えられます。健康食品はTVの情報番組で健康によく紹介されたものがよく使用され、摂取するだけで安心と効果がなくても使う現象が見受けられます。安にそういったものにたよるのではなく、バランスの良い食事を好き嫌いなく食べるの方が、病気にならない第一選択だとみんな知っているのだが・・・健康って簡単ではないんですね。